



概要版

廿日市市自殺対策計画 「いのち支える廿日市プラン」(第2次)



計画の趣旨



この計画は自殺対策基本法に基づく市町村自殺対策計画です。
平成31(2019)年3月に第1次計画を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのない暮らし心地の良い廿日市市」を目指し、自殺対策に取り組んできました。

今後、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や複合化、複雑化した課題を抱える人が増加している等の状況を踏まえながら、自殺に追い込まれる人を増やさないために、更なる自殺対策の取組の強化が必要です。より多くの市民が生きることの幸せを感じながら、いのちを大切にできるまちを目指し、取組を推進します。

基本理念

つながりで支える みんなのいのち みんなの幸せ

計画期間

令和6(2024)年度～令和7(2025)年度

新型コロナウイルス感染症拡大による急速な変化へ対応することに加え、令和8(2026)年度からは「第4期廿日市市地域福祉計画」と一体的な計画として策定するため、2か年計画とします。

数値目標

自殺総合対策大綱に基づき、自殺死亡率*1を2年間で6%以上減少させることを目指します。

自殺死亡率 (過去5年平均)	現状値(令和5年度) (平成30(2018)年～令和4(2022)年の平均)	目標値*2(令和7年度) (令和2(2020)年～令和6(2024)年の平均)
	12.1	11.4

*1 地域における自殺の基礎資料に基づく自殺死亡率(人口10万対)

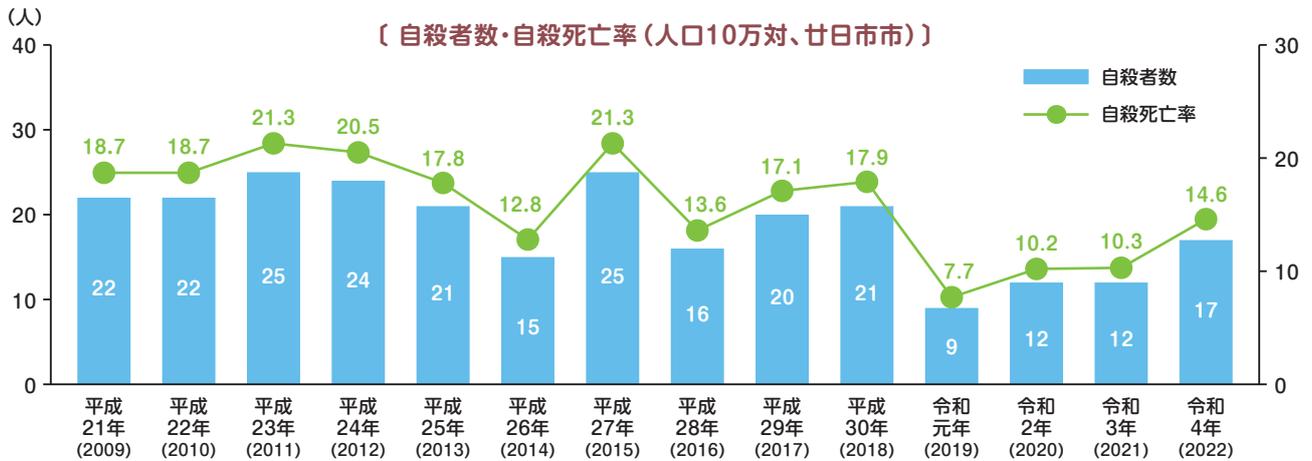
*2 令和12(2030)年度までの7年間では、現状値から自殺死亡率を15%以上減少させること(令和7(2025)年～令和11(2029)年の5年平均自殺死亡率10.3)を目指します

人や地域とのつながりが
みんなのいのちを守ること
(自殺対策)につながるよ。



廿日市市の現状と課題

- ◆ 平成30(2018)年に21人だった本市の自殺者数(自殺統計)は、令和3(2021)年には12人へと減少しましたが、令和4(2022)年は前年より増加し、17人となっています。



資料：廿日市市地域自殺実態プロフィール(いのち支える自殺対策推進センター)

- ◆ 男性20～39歳で有職、同居者がいる人の自殺者数が最も多くなっています。

〔廿日市市の主な自殺の特徴(平成29(2017)年～令和3(2021)年合計)〕

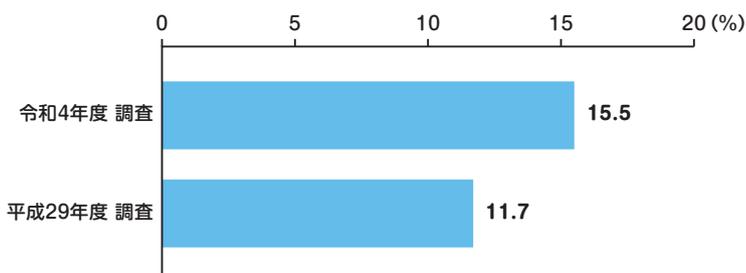
上位5位		自殺者数 5年計	割合	自殺死亡率 (人口10万対)	背景にある 主な自殺の危機経路(推定)
1位	男性20～39歳・ 有職・同居	9	12.2%	24.6	職場の人間関係/仕事の悩み(ブラック企業) →パワハラ+過労→うつ状態→自殺
2位	男性60歳以上・ 無職・独居	7	9.5%	108.0	失業(退職)+死別・離別→うつ状態→将来生 活への悲観→自殺
3位	男性60歳以上・ 無職・同居	7	9.5%	15.5	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+ 身体疾患→自殺
4位	女性60歳以上 無職・同居	7	9.5%	9.7	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
5位	男性40～59歳・ 有職・同居	6	8.1%	10.5	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+ 仕事の失敗→うつ状態→自殺

資料：廿日市市地域自殺実態プロフィール(いのち支える自殺対策推進センター)

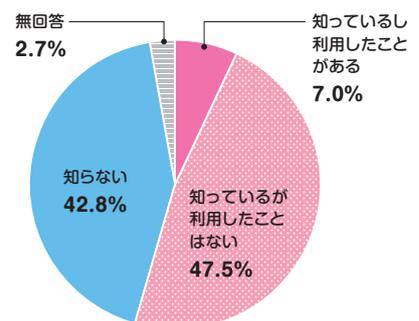
- ◆ アンケートの結果では、うつ病や不安障がいに対応するような心理的苦痛を感じている人の割合が上昇しています。

- ◆ 相談できる機関について、「知らない」と回答した人の割合が4割を超えています。

〔気分障がい・不安障がいに対応する
心理的苦痛を感じている人(無回答を除く)〕



〔不満、悩み、苦労、ストレスを
相談できる機関の認知度〕



出典：廿日市市健康増進計画「健康はつかいち21」(第3次)・廿日市市食育推進計画(第3次)策定にかかる調査報告書

計画の体系

基本
理念

基本
目標

施策の方向性

つながりで支える
みんなのいのち
みんなの幸せ

1. 多様な主体の対話と連携の推進

2. 包括的な支援体制の構築

3. 世代の特性や自殺のリスクに応じた取組の推進

1. 地域におけるネットワークの強化

- ◆ 多様な主体が連携・協働する仕組みを構築するとともに、ネットワークを強化します。
- ◆ 他の目的で展開されているネットワークと自殺対策を結びつけ、更なる連携の強化を図ります。

2. 自殺対策を支える人材の育成

- ◆ 様々な悩みや生活上の困難を抱える人に早い段階で気づき、対応できる人材を育成します。

3. 住民への啓発と周知

- ◆ 自殺の危機に陥ったときに助けを求められるよう、普及啓発を行います。
- ◆ 自殺に関連する正しい知識や自殺対策の取組の周知を行います。

4. 自殺未遂者や遺された人への支援

- ◆ 自殺未遂者の抱えている様々な問題解決のためのアプローチを行います。
- ◆ 遺された人が自分らしく生きることができるよう、サポートを行います。

5. 児童生徒学生のSOSの出し方に関する教育

- ◆ 困難やストレスに直面した児童生徒学生が、信頼できる大人に助けの声をあげられることを学校の教育活動として位置づけ、取組を実施します。
- ◆ 児童生徒学生がSOSを出しやすい環境を整えるとともに、大人がSOSを受け止められる体制を構築します。

6. 産業保健分野と連携した働く世代への支援

- ◆ 心身の健康を保ちながら仕事に取り組むことができる環境を整えます。

7. 高齢者特有の課題を踏まえた自殺対策の推進

- ◆ 閉じこもりや抑うつ状態になりやすく、孤独・孤立に陥りやすいといった高齢者特有の課題を踏まえた支援を行います。

8. 生活困窮者支援と自殺対策の連動

- ◆ 様々な困難を抱える生活困窮者が自殺リスクの高い人たちであることを認識し、生活困窮者自立支援制度や多機関ネットワークと連動した対策を推進します。

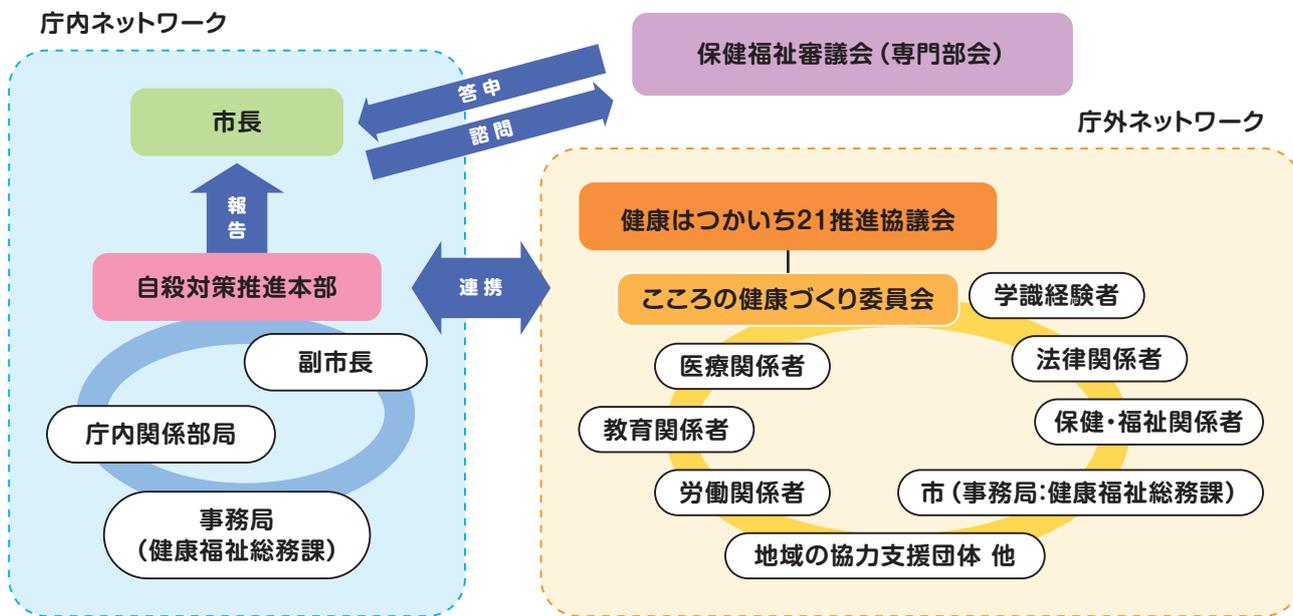
9. その他の世代や分野に応じた取組の推進

- ◆ 世代や分野に応じて「生きることの阻害要因（自殺のリスク要因）」を減らすとともに、「生きることの促進要因（自殺に対する保護要因）」を増やす取組を行います。

計画の推進体制

- ◆「廿日市市自殺対策推進本部」と健康はつかいち21推進協議会の「こころの健康づくり委員会」が連携しながら、計画を推進します。
- ◆進捗状況については、廿日市市保健福祉審議会に設置する専門部会において、共有、評価、改善を行います。

〔計画の推進体制図〕



自殺対策の取組紹介

◆ゲートキーパー紹介動画「一人で悩んでいませんか」

ゲートキーパーの心得や実例、相談機関を紹介するための動画を作成しました。

動画は二次元
コードから

ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけてあげられる人のことです。特別な研修や資格は必要なく、誰でもなることができます。



◆廿日市市相談窓口カード

相談窓口を知ってもらうためのカードを作成し、設置や配布をしています。

廿日市市相談窓口カード(令和6年発行)

「どこに相談したらいいの?」と思ったときは

相談まるごとサポートデスク
☎0829-20-5175

月～金 8:30～17:00 (祝日・年末年始を除く)



必要な関係機関につないで
解決に向けたサポートをします。

健康はつかいち21イメージキャラクター「ハツラツはっちゃん」

廿日市市相談窓口カード 廿日市市健康福祉総務課
令和6年発行



悩みがあるときは
相談してね。
相談窓口は廿日市
市のホームページ
にも掲載しているよ!

相談窓口は
二次元コードから



廿日市市自殺対策計画「いのち支える廿日市プラン」(第2次)(概要版)
(令和6年3月発行)

作成：廿日市市 健康福祉部 健康福祉総務課
廿日市市新宮一丁目13番1号
電話 0829-20-1610 FAX 0829-20-1611